

2014-7

全国拡大教材製作協議会

代表世話人 佐藤 邦隆

第 4 7 号

会 報

〒108-0073

港区三田 3-7-26-405

Tel・Fax 03-3453-3052

<http://www.kakudai.org/>

第 1 7 回定例代表者会議 会員懇談会終了

さる5月31日(日)、東京都障害者福祉会館にて第17回定例代表者会議が開催され、第1号から第3号議案までの承認を得て閉会しました。第3号議案にて改選されました新世話人について6月25日の定例世話人会にて会則に基づき役割分担を以下の通り互選しました。なお、当日の午後に開催された会員懇談会と合わせ当日の内容をホームページに掲載していますので詳しくはそちらをご覧ください。

*懇親会配布資料を欠席会員に同封しています。届いていない場合はお知らせください。

世話人会の役割分担

代表世話人・・・佐藤邦隆	(拡大教材)
副代表世話人・・・猪狩美知子	(下丸子図書館拡大写本研究會)
会計・・・・・・・・津布久順子	(浦安拡大写本グループ るーぺ)
業務・・・・・・・・北嶋千尋	(四街道拡大写本の会)
(製作実績調査・会員アンケート)	
業務・・・・・・・・伊藤裕美	(神奈川県拡大写本連絡協議會)
(会員登録・名簿)	
広報(会報)・・・後藤裕子	(宮代会拡大写本グループ)
広報(会報)・・・原 真紀	(神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団拡大写本本部會)
広報・・・・・・・・傍島純子	(柏市拡大写本サークル)
(兼 ホームページ管理)	
監査・支援・・・寺本道子	(拡大写本のひろば)

代表者会議の開催と26年度活動方針の採択

全国拡大協材製作協議會

代表世話人 佐藤邦隆

5月31日、全国拡大教材製作協議會の26年度代表者會議が開催されすべての審議案は原案の通り承認された。新たに26年度27年度の世話人が選出され、その後の世話人会で不肖私が前期に引き続き代表世話人を仰せつかった。新しい世話人の役割分担は本誌の別欄に記載した。

世話人一同は、会員の皆様が行う弱視児童・生徒の必要な書物を、個々に合わせて見やすく製作し、提供する活動を側面から支えるために、26年度活動計画および予算に沿って精一杯努力してゆく所存である。改めて、皆様の変わらぬご支援とご協力をお願いします。

代表者會議及び引き続いて行われた会員懇談會では、拡大ボランティアが行うべき次の主要課題(への轉換)について、真剣にかつ具体的に議論された。

そして、主に次のことが重要であるという現状認識を共有した。

高等学校に上がると、教科書さえも標準で用意されず、個別に入手しようとしてもその費用の差額補償はなされていない。この課題は2006年以来、幾度となく利用者から公的な機関へ要望が出され、国会の付帯決議にも付されたりしているが、いまだ弱視生徒の学習環境の差別は放置されている。今の社会における弱視への差別解消への動きはまだまだ鈍いといわざるを得ない。

こうした認識を踏まえ、我々ボランティア団体は次の活動に重点をおくように申し合わせた。

- ・自分達でできる問題は、積極的に自主的に取り組みを強化していくこと。
- ・社会全体で取り組むべき課題の実現をプッシュする役割を果たすこと。

自分達でできる問題は、すなわち、高校拡大教科書の製作に挑戦するグループ会員を増やすなど体制を強めること。実績情報を協議会内で共有化することで、経験の新しいグループの技術力と提供力を高め、協議会の製作提供体制を全体として強化する。

一方、社会全体で取り組むべき課題の実現をプッシュする役割としては、義務教育課程と高等学校では具体的な施策は違ってくるが、いずれにしても利用者の製作実費負担軽減(差額補償)の課題に取り組むことである。

義務教育で課題として挙げられるのが副教材など拡大図書の製作費用負担の問題である。利用者個人では負担が重過ぎる現状を打開するために、差額補償の諸処の方策を考え実践してゆく。また、高等学校では、弱視生徒の拡大教科書の入手に関わる費用の差額補償を、現状の制度の中で運用基準を変更して公的に実現させることである。

利用者団体などとも歩調を合わせて、公的機関への要望も積極的に行ってゆく。

また、我々は改めて最近の利用者の要望を更に深く理解する必要がある。今年度の勉強会は、利用者との接点を強めることを目標にする。弱視児童・生徒の“トータルな学習環境を整える”ことをテーマに、利用者側から拡大教材を利用する際の使い勝手や今後の要望などを伺い、新しい課題を具体的に把握しそれに沿った対処法を見つけることに重きを置く。11月下旬に開催するが、皆様からも知りたいことなど積極的にご意見を寄せていただきたい。近々案内を送付する予定。

全国拡大教材製作協議会の世話人として、力はまだまだ不足の状態だが、熱意だけは十分持っている。弱視児童・生徒のトータルな学習環境や生涯の読書環境を整えるために拡大写本ボランティアとして何ができるのか、協議会として何をすれば良いのかを真摯に考え続けていきたい。

皆さまの益々のお力添えを願う次第です。

尚、今月は年会費の振込みをお願いする月です。振込用紙を同封しますので手続きをよろしくお願いします。

平成26年度 会員懇談会 まとめ

日時 26年5月31日(土) 12時30分~15時30分

場所 東京都障害者福祉会館 二階会議室

参加グループ 25グループ(41名)

高校の教科書及び小中高の副教材について

1、 お金の問題…製作にかかる費用をどこから出してもらうのか

盲学校、支援学校は県の就学奨励費などが充てられているが一般校に通う高校生の教科書は対象外であり、全額個人負担である。

社協、その他の補助金や会の余剰金を使っているグループもあるが安定した資金ではないため、全国協議会で企業からの寄付を募り基金を作れないか、利用者団体と協力し一般校の弱視生徒の拡大教科書の公費負担を文科省に働きかけていつたらどうか、との意見がでた。

2、 高校教科書の依頼の受け方

高校1年生は受験があるため依頼がぎりぎりになる場合が多いが、中3からの継続依頼であれば合格と同時に当事者、学校と連絡を取り合っただけで早い段階で情報を得るようとの意見が出た。

3、 副教材の全国協議会からの依頼方法について。

現在メールによる呼びかけを行っているが情報が少なく応募しにくいとの意見があり出来る限り多くの情報を掲載出来るよう努力することとする。

小中学校の現状

弱視児童・生徒は本当に教科書出版社の作った教科書に満足しているのか。

全国協議会から文科省に対して教科書出版社もボランティアも共に利用者の立場に沿った拡大教科書づくりが無理なく出来るよう働きかけていく必要があるとしていくつかの具体案が出た。特に出版社に過大な負担をかけることは今後の拡大教科書にとって、良い結果をもたらすとは思えないとの意見が出た。

小中拡大教科書の値段の付け方

拡大本の価格の付け方についての質問がでたが、それぞれのグループが過去の製作状況、財政状況を考慮して算出している。いくつかのグループからは具体的な回答を得た。

児童書の著作権申請

懇談会の資料として申請書のひな形を配布したが、申請する際はまず出版社に連絡をとり細かい点を確認することが必要。

その他

5月7日全国協議会として文科省を訪問。今後も問題を解決するため継続的な訪問を予定。

今回の懇談会の意見を集約し、全国協議会として

- 1、 一般高校に通う弱視生徒の拡大教科書の公費による差額負担
- 2、 弱視児童生徒に対する利用状況調査（文字サイズの定期的測定等）
- 3、 小規模出版社の拡大教科書は需要発生後にボランティアが製作を行えるようにする事

以上三点を文科省等に要請を行うことを承認された。

次回勉強会は秋頃を予定。

11月に勉強会を開催します！

予定は・・・

第三回拡大写本の未来をさぐる～利用者の理解を深める

筑波大学附属視覚特別支援学校 宇野和博先生による講演

拡大写本を使った経験を持つ利用者によるパネルディスカッション
などを企画中です。

開催場所：東京都障害者福祉会館（予定）

日時は11月最終週を予定しています。

詳細は後日ご案内を送付しますのでそちらをご覧ください。

* 世話人会よりお知らせ *

- ・平成26年度の年会費を納入ください

この会報とともに文書と振り込み用紙を送付します。

同封されていない場合はお知らせください。

・グループ状況をお知らせください。

代表者、メール配信受信者、活動場所、活動日時などに変更があるグループは連絡ください。送付資料が届かない場合や情報送信が遅れる場合があります。今一度確認をお願いします。なお、原則として「会員登録届（新規・変更）」用紙をご利用ください。用紙はホームページよりダウンロードできます。

・全国拡大教材製作協議会の案内がでます。

宇野先生のご協力により弱問研「つうしん」や全国の盲学校にむけて会の活動案内を再度していただけます。

新たな製作依頼などがありましたらメールにて案内しますのでメール担当の方はチェックを適宜行ってください。

・弱問研のホームページがリニューアルされました。

筑波大学附属視覚特別支援学校 宇野和博先生よりお知らせがありました。

拡大教科書に関するこれまでの経緯も掲載していただいています。

参考まで紹介します。

<http://jakumonken.sakura.ne.jp/teigen/kyouiku/kyoukasho.htm>

なお、宇野先生の出版ニュース掲載寄稿文を勉強会参照資料として同封します。

現在のグループ数 56グループ（平成26年5月現在）

退会

鶴ヶ島拡大写本の会

東淀川寺区拡大写本ボランティア

香芝拡大写本トンボの会

拡大写本グループはなみずき

26年度世話人会日程

- ・原則として第4週水曜日 午後1時半から
（どなたでもお気軽にご参加ください）
- ・場所 東京都障害者福祉会館 東京都港区芝5-18-2
- ・交通 JR 田町駅 下車 徒歩3分
都営地下鉄三田線 浅草線 三田駅下車 すぐ

7月23日（水）	8月27日（水）
9月24日（水）	10月22日（水）
11月26日（水）	12月17日（水）

《編集後記》暑い夏がやってきました。今年も集中豪雨や台風、強風等気候が複雑になっているように思われます。せめて夏の間はゆったりと体を休めながらの作業をと思います。私ごとながら暑さに対抗するにはすいか朝から手放せません！（笑）秋が過ぎれば次年度は小学校の教科書改訂で今までとまた違うレイアウトや表現があり悩みながらスタートしますがそのころにまた勉強会でお会いできますことを楽しみにしています。（H）